

経営状況について

目次

- ▶ 1 損益計算書について
- ▶ 2 経営指標について

1 損益計算書について

▶ 損益計算書とは・・・

会社が一定期間に「どれだけ収益（売上）を上げ、費用（コスト）を使い、いくら利益が出たか」を表す経営成績表です。

1年間の黒字・赤字を一目で確認できます。

大町市水道事業 令和6年度決算の損益計算書（経営成績表）

（単位：千円）

収益

給水収益
385,849

長期前受金戻入
63,486

原水供給収益
32,079

その他収益
48,686

費用

維持管理費
429,186

施設維持費用・
減価償却費ほか

その他費用
15,852

当期純利益
85,062

- ・ 令和6年度では、給水収益のみでは、維持管理費用を賄(まかな)うことができない状況。
- ・ 当期純利益は、85,062千円となり、利益は出ている状況。

大町市簡易水道事業 令和 6 年度決算の損益計算書（経営成績表）

（単位：千円）

収益	費用
給水収益 33,084	維持管理費 173,535
他会計補助金 106,917	施設維持費用・ 減価償却費ほか
長期前受金戻入 61,430	その他費用 8,944
その他収益 2,303	当期純利益 21,255

- ・ 給水収益のみでは、維持管理費用が賄(まかな)えない状況。
- ・ 他会計補助金（一般会計繰入金）は、給水収益の3倍となっている。
- ・ 「他会計補助金」で補填しなければ当期純利益を出せない状況。

2 経営指標について

①「給水原価」＝水の原価

1 m³ (1,000 ℓ) の水を家庭まで届けるためにかかった経費。

②「供給単価」＝水の売値

1 m³ (1,000 ℓ) の水を売った時の料金。

③「料金回収率」＝供給単価／給水原価＝経営の自立性

給水にかかった経費を、利用者の料金でどれだけ賄(まかな)えているかを示す指標。

経営指標(令和6年度)	水道事業	簡易水道事業
①給水原価	150.50円	677.17円
②供給単価	153.42円	199.85円
③料金回収率	101.94%	29.51%